

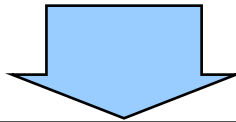
トヨタ自動車におけるEDI標準帳票活用の 取り組み

トヨタ自動車(株)
コーポレートIT部
第1生産物流システム室
古田 朋司

自動車業界における標準化の取り組み

・EDI標準化

各OEM毎のEDI化を経て自動車業界としてのEDI標準作成へ



自動車業界におけるEDI標準として、国際標準であるUN/EDIFACTを採用し、2003年度より各社実用化する。

2000年8月電子情報委員会決議

2004年度までに下記情報種において各社毎の対応完了

DELFOR(注文内示・確定)

DELJIT (納入指示)

DESADV(出荷)

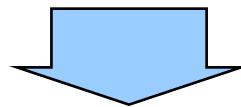
RECADV(受領)

INVOIC(買掛計上支払通知)

自動車業界における標準化の取り組み

・帳票標準化

部品業界より「情物一致の原則」に基づき現品票等の帳票類の“業界標準化要望”が高まってきた



自工会と部工会の連携により

将来を見据えたあるべき姿を想定し

“標準帳票ガイドライン”を作成(2004年4月第3版)

2005年度に各OEMにおいて移行完了

トヨタにおける標準帳票活用状況

標準帳票	適用	活用方法状況
かんばん	○	1998～「e-かんばん」適用
現品票	×	利用しない
納品書	○	・2003～支給品に適用。 但し、号口品(量産品)は、ペーパーレス。
受領書	○	
支給書	○	

トヨタにとってかんばんは単なる帳票ではなく、
「かんばん＝改善の道具」。

トヨタにおける標準帳票活用状況

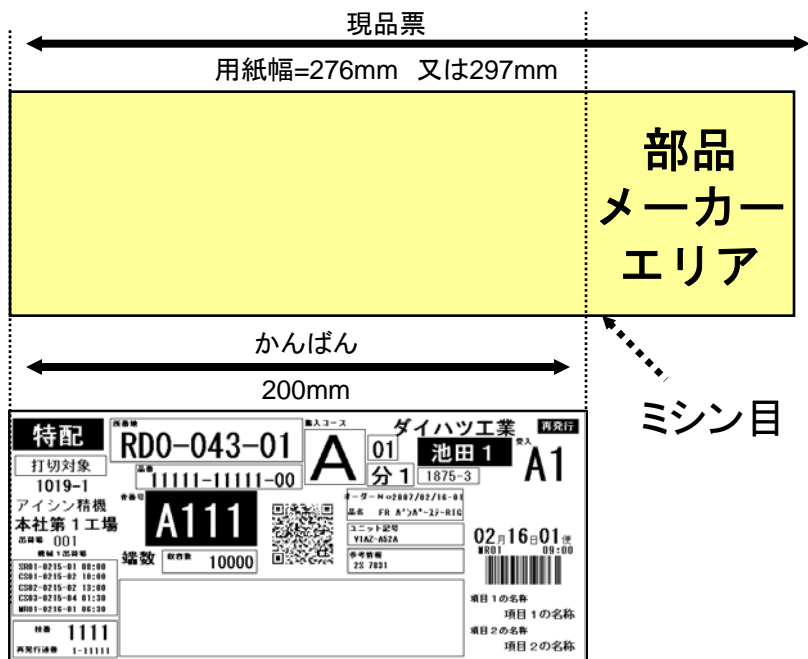
- トヨタがかんばんを利用するにあたり考慮した点

(1) かんばんをJAMA標準帳票として登録。
主にトヨタグループで標準帳票として活用。

(2) かんばんサイズを、極力現品表と共通化。

仕入先様にとって、
2種類の帳票が存在。

但し、できるだけ
標準化を考慮しつつ、
e-かんばん化を
推進。



トヨタにおけるe-かんばん推進の背景

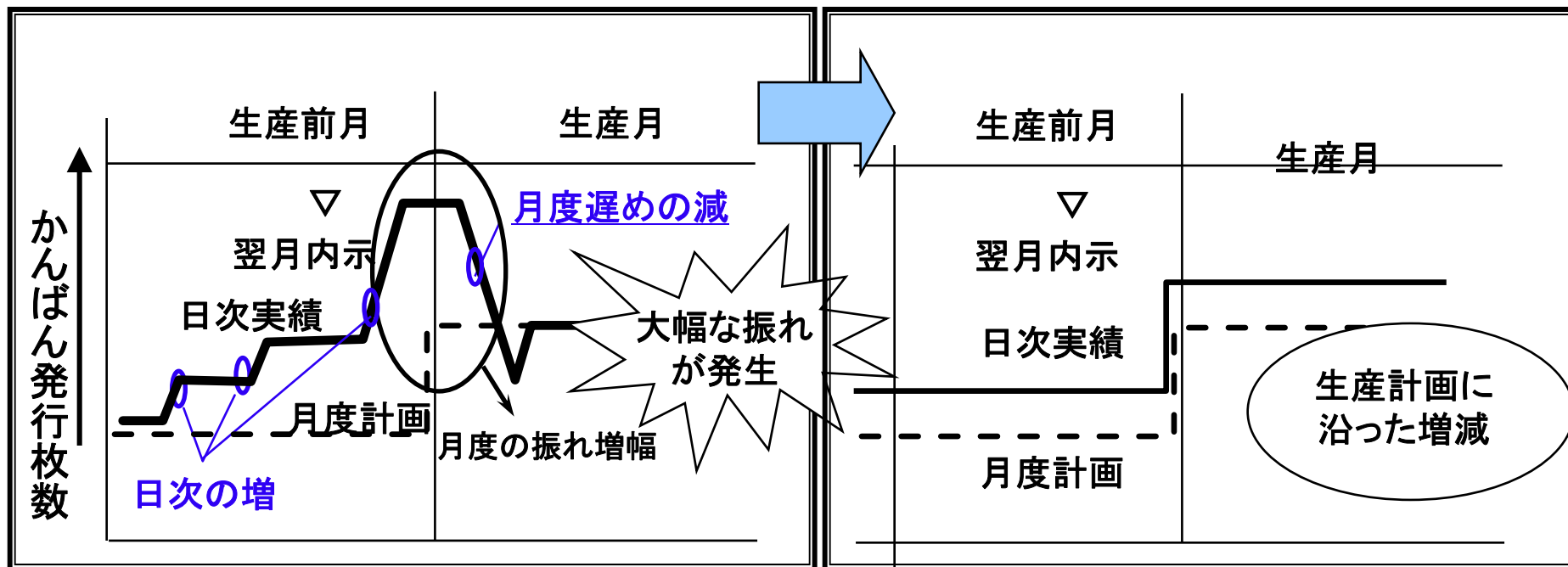
・トヨタ生産方式＝平準化。(ムダ・ムリ・ムラの排除)

・市場の多様化に伴い、車両バリエーションが増。

「量も種類も一定(平準化)」 → 「量は一定だが、種類は振れる」

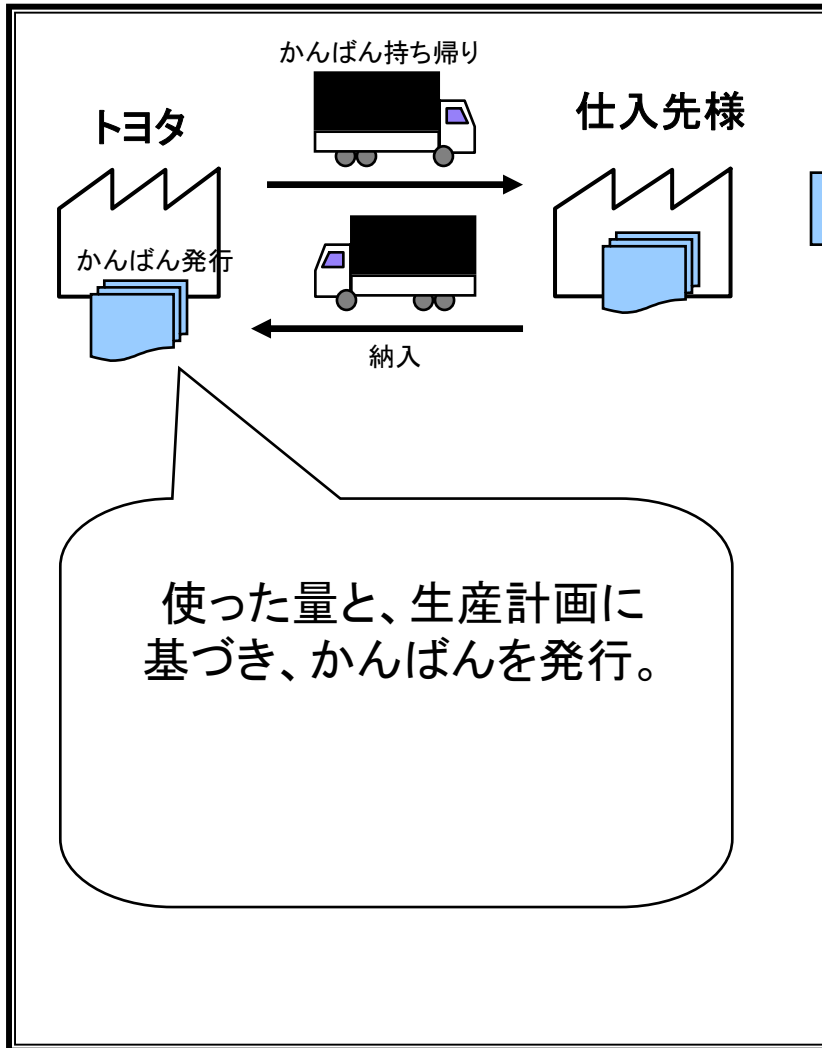
○紙かんばん、ハンド作業の場合

○e-かんばんの導入の場合(理想形)

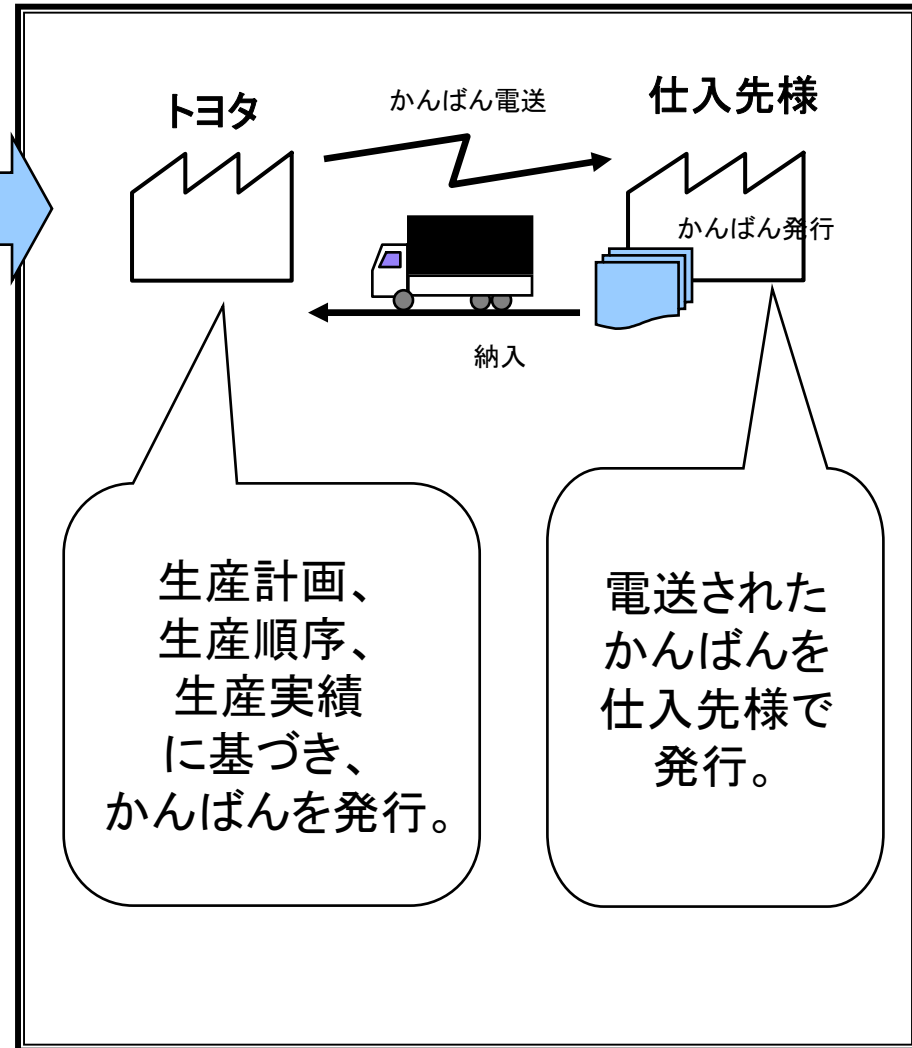


e-kanbanの概要

○紙かんぱん、ハンド作業の場合



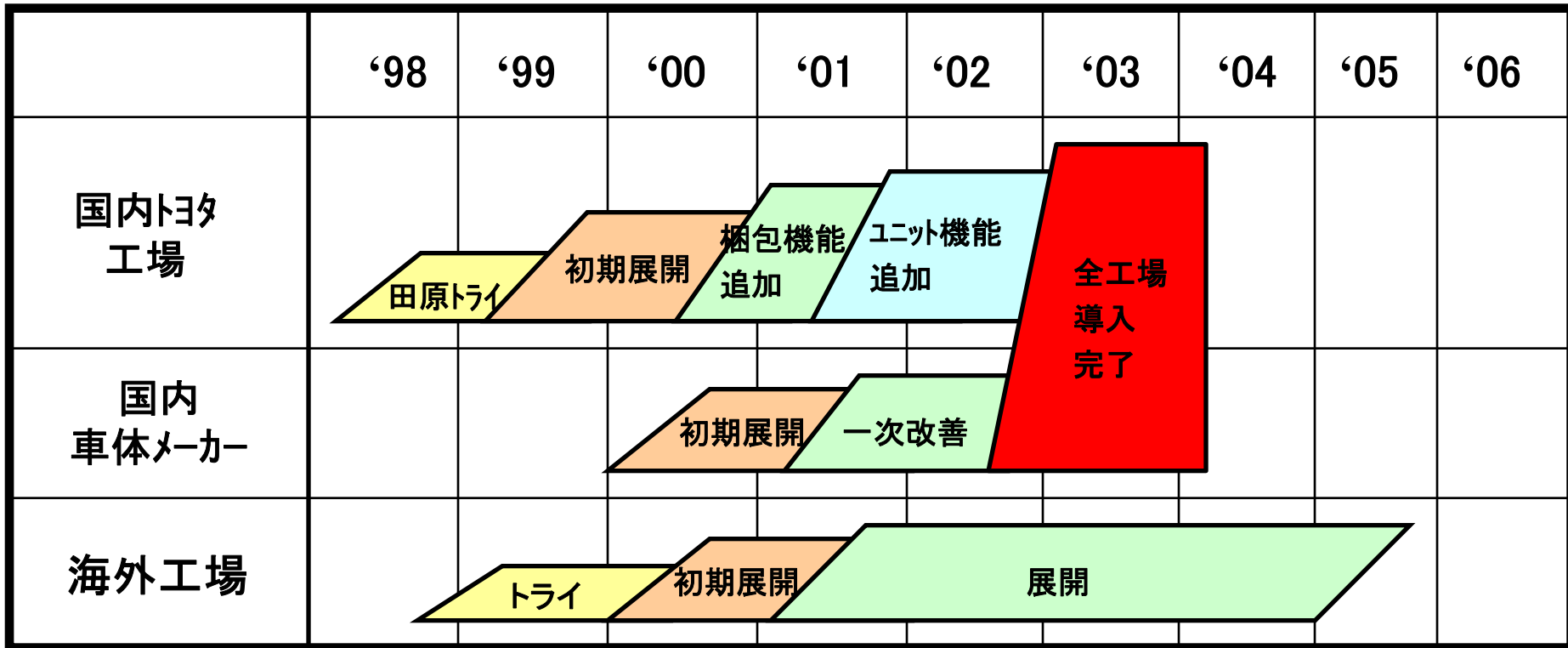
○e-kanbanの導入の場合



導入状況

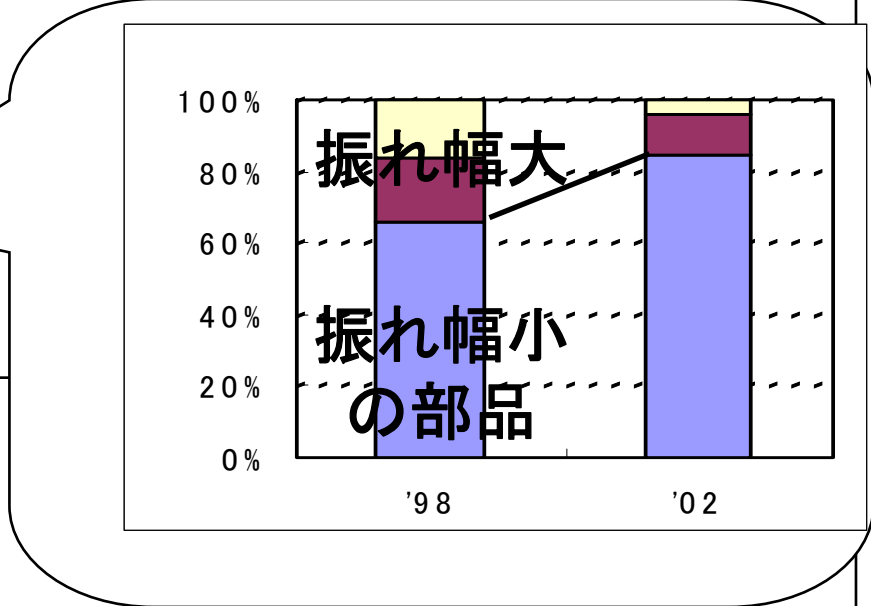
グローバルでほぼ全ての工場に、e-かんぱんを導入済み。

新規工場にも、工場立上げに併せて導入。



e-かんぱん導入のメリット

<p>トヨタの 効果</p>	<ul style="list-style-type: none">・業務の標準化。(グローバルに標準化)・納入リードタイムの短縮・需要変動への対応力向上<ul style="list-style-type: none">- 在庫低減- かんぱん 振れ幅低減
<p>仕入先様の 効果</p>	<ul style="list-style-type: none">・コスト低減・仕事の精度UP・作業工数の低減



トヨタでe-かんぱん導入で苦労した点

①社内かんぱんフォーマットの標準化

- ・トヨタ内に30種類のかんぱんが存在していたが、
一点ずつe-かんぱん化を推進。

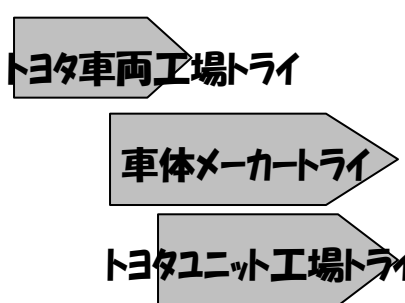
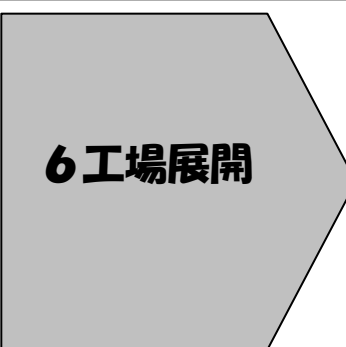
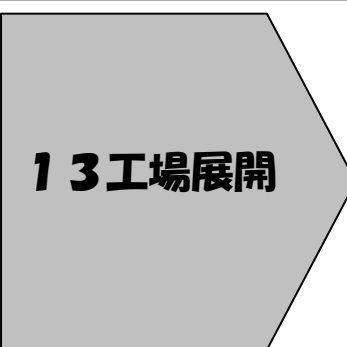
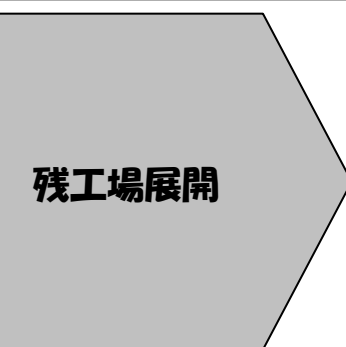
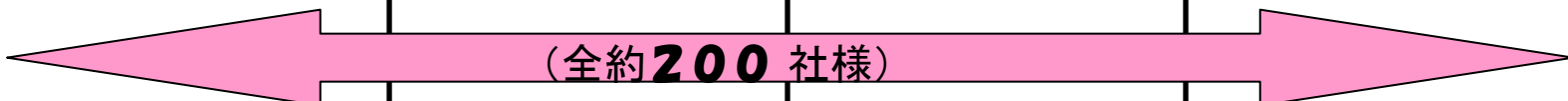

②仕入先様でのe-かんぱん直接受信の導入。

- ・ワーキングを設立し、仕入先様にもご参加頂き、
運用面の理解を深めて頂きつつ、慎重に推進。

今後のe-かんばんの計画

- ・遠隔地生産の増加に伴い、増加する中継地物流へ対応。
- ・システムの老朽更新・バージョンUP。

 新e-かんばんシステムを導入(2008/4~)

	2008			2009				
	4	7	10	1	4	7	9	
工場側								
仕入先様側								

今後のe-かんばんの計画

・新e-かんばんの主な変更点

- ① 中継地物流への対応
- ② 専用ネットワーク ⇒ 汎用ネットワーク
- ③ トヨタ提供パッケージシステムによる、比較的安価なシステム

今後のe-かんぱんの計画

・新e-かんぱんの主な変更点。

①中継地物流への対応

かんぱんフォーマットを一部変更。(JAMA標準も変更済)

中継地情報を充実

特配	所番地 RDO-043-01	輸入コース A	ダイハツ工業 池田 1	再発行
打切対象 1019-1	品番 11111-11111-00	01 分 1	1875-3	受入 A1
アイシン精機 本社第1工場 出荷場 001	音番号 A111	QRコード	オーダーNo 2007/02/16-01	
端数 取寄数 10000			品名 FR A*ンA*ステ-RIG	
再発行連番 1-11111			ユニット記号 Y1AZ-A52A	
			参考情報 2S 7831	
				02月16日01便 MR01 09:00
				項目1の名称 項目1の名称 項目2の名称 項目2の名称

その他、操作性に関わる部分を修正。

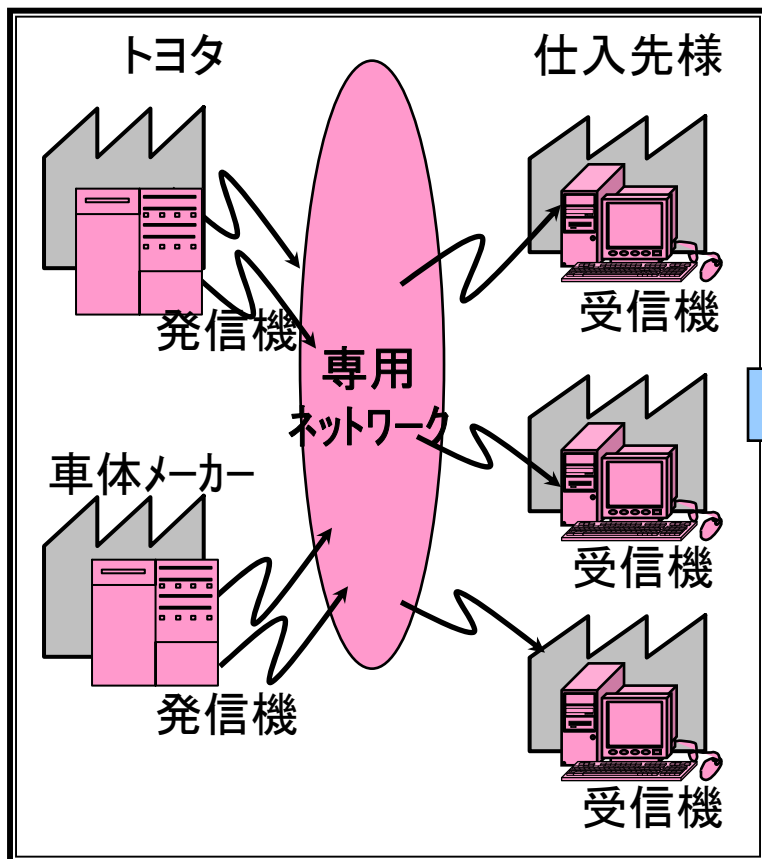
今後のe-かんばんの計画

・新e-かんばんの主な変更点

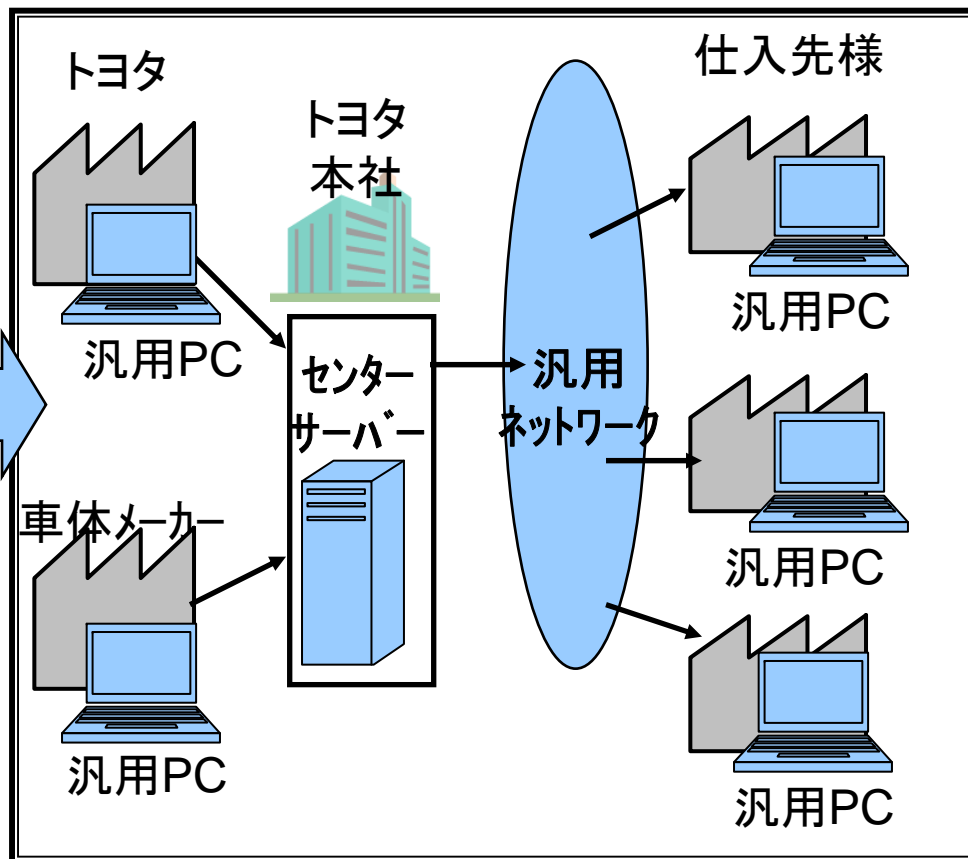
②専用ネットワーク ⇒ 汎用ネットワークの活用

③トヨタ提供パッケージによる安価なシステム

現行



新



新e-かんぱん推進上の留意点

①仕入先様へのタイムリーな情報提供

- ・関係仕入先様への説明会を定期的を実施。

計6回実施予定、(5/26 第5回説明会を実施)

②仕入先様での新システムへの運用、操作習熟。

- ・トヨタより仕入先様に対し、運用教育を予定。

導入ベンダーより仕入先様に対し、操作教育を予定。

END